



五福っ子



令和7年9月9日発行 No.12

かんがえよう 相手の気持ち みんなの安全



6月28日(土)人権教育講演会で、コムパレット代表の桐野志摩美先生より、「デジタル時代の人権を考えよう～ネット・スマホとのつきあい方」という演題で、お話しいただきました。

ネットや SNS というツールは、思っていることが正確に伝わりにくい、50%くらいしか伝わらないということを自覚して使うことが大切、ということは、私にも強烈に残りました。

講演が終わった後、桐野先生と少し雑談をしていた中で、「日常生活の、顔と顔の見えるやり取りの中で、相手の表情や素振り、言葉の調子、声の大きさなどから、相手の気持ちを想像しながら、コミュニケーションをとることで、コミュニケーションの基本を身につけることがとても大事ですね。」ということをお聞きしました。学校では、顔と顔の見えるリアルなやり取りを大事にして指導していきたいと思います。そして同時に、ネットモラルについても意識を高めていきたいと考えています。

9月11日(木)の授業参観は、学年の発達段階に合わせながら、ネットモラルの授業を行います。身近な友達とのトラブルから、新聞やニュースで騒がれているような詐欺などの犯罪まで、全てを網羅することは難しいのですが、子どもたちがトラブルや危険を回避する力をつけていけるように、指導していきます。また、授業後の学級懇談の中で、ご質問やご意見などを話題として出していただけると、話し合いも深まります。

ぜひご家庭でも、ネットや SNS の使い方について、お子さんと相談し、安全を見守っていただきたいです。今回の授業公開が、その一助となることを願っています。

<参観授業>

レッツ1組 「うちでのパソコンの使い方、だいじょうぶかな？」

レッツ2組 「パソコンのルールやマナー」

1年 「どうがにねっちゅうしすぎると」ネット依存

2年 「どうがをずっと見てしまう」

3年 「わたしの写真がなくなっている」

4年 「写真の肖像権について」

5年 「トークアプリ依存」

6年 「責任を持って情報を発信しよう！」